

第九十一卷 第一号 目次

大沢秀介教授退職記念号

ドイツ基本法における「集会」の概念  
をめぐる最近の議論 岡田俊幸

選挙活動規制立法と国民主権原理  
——「ロック主義への高度な回想」か  
ら見た政治的表現の自由の保障—— 青柳卓弥

序 岩谷十郎

転換点としてのGPS捜査判決？ 小山剛

言葉／意味／権力 駒村圭吾

——トランプの場合、天皇の場合——

グローバル化世界と憲法制定権力 山元一

ドイツにおける裁判テレビ中継と裁判  
の公開 鈴木秀美

——二〇一七年の裁判所構成法改正を  
手がかりに——

日本における対内直接投資規制の変遷 渡井理佳子

「生存権」の財政統制機能に関する覚書 山本龍彦

公益法人制度改革・法人格取得・結社  
の自由 横大道 聡

立法プロセスの裁判所による法的統制  
の可能性と限界 川崎政司

選挙活動規制立法と国民主権原理  
——「ロック主義への高度な回想」か  
ら見た政治的表現の自由の保障——

アメリカの公共交通システムにおける  
憎悪煽動的な意見広告（ヘイト・ス  
ピーチ）の規制についての一考察

議会上院の選挙制度構想  
——参議院議員選挙区選挙の合区解消  
に向けた一考察——

エージェンシー・ショップと結社の自  
由 岡田順太

——Friedrichs判決を契機として——  
多文化共生とコミュニティ

イギリスの反社会的行動対策に関する  
憲法学的検討序論 築山欣央

生ける憲法と憲法訴訟  
——合憲性審査としての立法事実—— 岩切大地

大林啓吾

憲法解釈における「生ける樹」理論と  
司法積極主義 手塚 崇 聡

議会の自浄機能という神話 小林 祐 紀

行政裁量と人権 堀 口 悟 郎

——君が代懲戒処分事件判決における  
人権論の領分——

「健康権」の法的性質 石塚 壯 太郎

——ニクス決定と基本権ドグマ  
—— テイクの揺らぎ——

大沢秀介教授略歴・主要業績